

PHILIPS

サウンドバー

4000 シリーズ

取扱説明書

TAB4208

製品を登録し、サポートを受けるために、以下にアクセスしてください。

www.philips.com/support

目次

1	安全に関する重要な指示	3
	安全性	3
	製品のお手入れ	4
	環境への配慮	4
	適合性宣言	5
	ヘルプとサポート	5
	FCC 情報	6
2	サウンドバー	7
	パッケージ内容	7
	メインユニット	7
	コネクタ	8
	リモコン	8
	リモコンの準備	9
	取り付け	10
	壁面取り付け	11
3	接続	12
	HDMI ARC への接続	12
	光学系への接続	12
	AUX への接続	13
	電源への接続	13
4	サウンドバーの使用	14
	電源のオン／オフ	14
	ソースの選択	14
	イコライザー (EQ) 効果の選択	14
	音量の調整	15
	工場出荷時の状態にリセット	16
	Bluetooth 機器	16
	USB 操作	16
	AUX／光学／HDMI ARC の操作	17
5	製品仕様	18
6	トラブルシューティング	19
7	商標	21

1 安全に関する重要な指示

製品をご利用になる前に、すべての指示を読み、理解するようにしてください。指示に従わなかったことが原因で損傷が発生した場合には、保証は適用されません。

安全性

安全記号を理解する

マーキング情報は、製品の下部または背面にあります。



警告！

警告：感電の危険があります！



エクスクラメーションマーク(!)は、重要な操作上の指示があることをユーザーに警告することを意図しています。



取扱説明書の指示に従ってください！

感電や火災の危険があります！

- 接続を確認または変更する前に、すべての機器が電源コンセントから外されていることを確認してください。
- 本製品および付属品を雨や水にさらさないでください。花瓶などの液体が入った容器を本製品の近くに置かないでください。液体が本製品の上にこぼれたり内部に侵入したりした場合には、直ちに電源コンセントを抜いてください。本製品の使用前に点検を受けるには、お客様情報センターにお問い合わせください。
- 本製品および付属品は、裸火やその他の熱源（直射日光を含む）の近くに置かないでください。
- 本製品の換気口やその他の開口部に物を挿入しないでください。

- 主電源プラグまたは電源接続器を切断装置として使用する場合は、切断装置はすぐに操作できる状態にしておく必要があります。
- 電池（取り付けた電池パックまたは電池）は、直射日光や炎などの高温になる熱にさらさないでください。
- 雷が発生しそうな場合はその前に、本製品の電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを抜くときには、必ずプラグを掴んで引き抜き、絶対にケーブルを引っ張らないでください。
- 本製品は熱帯または温暖な気候の地域で使用してください。

ショートや火災の危険があります！

- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または下部にある型式プレートを参照してください。
- 本製品を電源コンセントに接続する前に、電源電圧が製品の背面または底面に印刷されている値と一致していることを確認してください。電圧が異なる場合は、本製品を電源コンセントに接続しないでください。

負傷したり本製品を損傷したりするおそれがあります！

- 本製品を壁面に取り付ける場合は、設置説明書に従って壁にしっかりと固定してください。付属の壁面取り付けブラケットのみを使用してください（使用可能な場合）。不適切な壁面取り付けは、事故、負傷、または損傷の原因となる可能性があります。お尋ねになりたい点がある場合は、お住まいの国のお客様情報センターにお問い合わせください。
- 本製品や物を電源コードの上、または他の電気機器の上に置かないでください。
- 本製品が 5℃ 未満の気温で輸送されてきた場合は、製品を開梱して製品が室温と同じ温度になるのを待ってから電源コンセントに接続してください。

- 本製品にはガラス製の部品が使用されている場合があります。負傷や損傷を防ぐため、十分注意して取り扱ってください。
- 本製品は温度が 0℃～45℃ の環境で安全に使用してください。

オーバーヒートの危険があります！

- 本製品は絶対に閉鎖空間内に設置しないでください。換気のため、製品の周囲には必ず 10 cm（4 インチ）以上の隙間を空けてください。カーテンやその他の物によって本製品の換気スロットが覆われないようにしてください。

電池の使用に関する注意

- 注意：正しくない電池交換をした場合には、爆発の危険があります。同じまたは同等のタイプの電池と交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池には化学物質が含まれています。リサイクルまたは廃棄については、国や地域のガイドラインに従ってください。
- 装置に記されている「+」および「-」のマークに従って、すべての電池を正しく取り付けてください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池（カーボン亜鉛電池）、または充電式電池（Ni-Cd、Ni-MH など）を混ぜて使用しないでください。
- 電池（電池または電池パック）は、直射日光や炎などの高温になる熱にさらさないでください。
- 電池を廃棄するときには、燃やしたり焼却炉で処理したり、機械的に潰したり切断したりしないでください。
- 電池を極端に低い気圧下で管理しないようにしてください。

注

- 定格ラベルは、機器の下部または背面に貼り付けられています。

製品のお手入れ

本製品のクリーニングにはマイクロファイバークロスのみを使用してください。

環境への配慮

古くなった製品と電池の廃棄



本製品は、リサイクルと再利用が可能な高品質の素材とコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品のこの記号は、製品が欧州指令 2012/19/EU の対象となっていることを意味します。



この記号は、本製品に欧州指令 2013/56/EU の対象となる電池が含まれており、通常の家庭ごみと一緒に廃棄できないことを意味します。

電気／電子製品および電池の廃棄については、地域の分別収集システムをお調べください。地域の規則に従い、本製品や電池を通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。古い製品や電池を適切に廃棄することで、環境や人の健康に悪影響が及ばないようにすることができます。

使い捨て電池の取り外し

使い捨て電池を取り外すには、電池の取り付けに関するセクションを参照してください。

適合性宣言

本製品は、欧州共同体（EC）の無線干渉要件に準拠しています。

TP Vision Europe B.V. は、本製品が RED 指令 2014/53/EU および英国の無線機器規制 SI 2017 No 1206 の必須要件およびその他の関連条項に準拠していることを宣言します。適合宣言については、以下でご覧いただくことができます。
www.philips.com/support

ヘルプとサポート

以下にアクセスすると、次のような広範なオンラインサポートを受けることができます。
www.philips.com/support

- 取扱説明書とクイックスタートガイドをダウンロードする
- ビデオチュートリアルを視聴する（一部のモデルでのみ利用可能）
- よくある質問（FAQ）から回答を探す
- 質問をメールで送信する
- サポート担当者とチャットする

Web サイトの指示に従って言語を選択し、製品のモデル番号を入力します。

お住まいの国のお客様情報センターにお問い合わせいただくこともできます。お問い合わせいただく前に、製品のモデル番号とシリアル番号を書き留めておいてください。その情報は、製品の背面または下部にあります。

FCC 情報

注:本機器は、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル機器の制限に準拠していることが試験で確認されています。これらの制限は、住宅での設置で有害な干渉から適切に保護するように設計されています。本機器は、無線周波エネルギーを発生および使用し、場合によっては放射する可能性があり、指示に従って設置、使用しない場合は無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

ただし、特定の設置によって干渉が発生しなくなるという保証はありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしているかは、機器の電源をオン／オフにすることで判断できますが、干渉が生じている場合は、以下の対策を 1 つ以上実施して解消することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに本機器を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ／テレビ技術者に相談する。

FCC および IC 警告：

- この機器は、ラジエーターと人体との間に 20cm 以上の距離を置いて設置し、操作してください。
- コンプライアンス責任者の明示的な承認なくこのユニットに変更や改変が行われた場合、本機器を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

IC-Canada: CAN ICES-003(B)/NMB-003(B)

This device contains licence-exempt transmitter(s) / receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

- 1 This device may not cause interference.
- 2 This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Avis d'Industrie Canada: CAN ICES-003(B)/NMB-003(B)

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- 1 L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- 2 L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

2 サウンドバー

フィリップス製品をご購入いただきありがとうございます。フィリップスが提供するサポートを最大限に活用していただくために、ご購入のサウンドバーを以下でご登録ください。www.philips.com/support

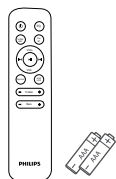
パッケージ内容

パッケージに以下の品目が含まれていることを確認してください。

- | | |
|----------------|-----|
| ● サウンドバー | × 1 |
| ● リモコン | × 1 |
| ● アダプタ | × 1 |
| ● 壁面取り付けキット | × 1 |
| ● クイックスタートガイド | × 1 |
| ● 保証カード | × 1 |
| ● 壁面取り付けテンプレート | × 1 |



サウンドバー



リモコン
(単 4 形電池 × 2)



アダプタ : × 1 pcs



壁面取り付けキット
(ブラケット × 2 / 壁面取り付け
ネジ × 2 / 壁掛けアンカー × 2)



壁面取り付けテンプレ
レート



クイックスタートガイド

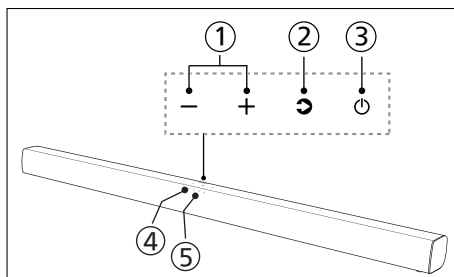


保証カード

- アダプタとプラグのタイプは地域によって異なります。
- 本取扱説明書に記載されている画像および図は、あくまで参考であり、実際の製品の外観は異なる場合があります。

メインユニット

このセクションでは、メインユニットの概要について説明します。



① + / - (音量) ボタン

音量の上げ下げを行います。

② ㊄ (ソース) ボタン

サウンドバーの入力ソースを選択します。デフォルトのソースは HDMI ARC です。

③ ㊤ (スタンバイ - オン)

- サウンドバーの電源をオンにするか、スタンバイ状態にします。

④ サウンドバーの LED インジケーター

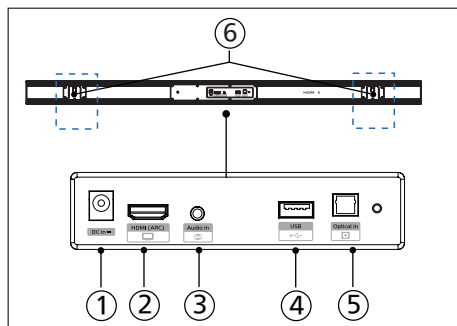
再生ソースを切り替えると、それに応じてフロントインジケーターが点灯します。メインユニット前面のインジケーターライトに、現在使用中のモードが表示されます。

ステータス	LED の状態
AUX	[AUX/USB] 点灯 (ホワイト)
USB	[AUX/USB] 点滅 (ホワイト)
Standby	[スタンバイ] 点灯 (レッド)
BT (Bluetooth)	
• 接続済み	[BT] 点灯 (ホワイト)
• 切断済み	[BT] 点滅 (ホワイト)
OPTICAL	
• サポート対象	[OPT] 点灯 (ホワイト)
• サポート対象外	[OPT] 点滅 (ホワイト)
HDMI ARC	
• サポート対象	[HDMI ARC] 点灯 (ホワイト)
• サポート対象外	[HDMI ARC] 点滅 (ホワイト)

⑤ リモコンセンサー

コネクター

このセクションでは、サウンドバーで使えるコネクターの概要について説明します。



① DC in (DC 入力)

電源に接続します。

② HDMI out (HDMI 出力) (ARC)

テレビの HDMI (ARC) 入力に接続します。

③ Audio in (オーディオ入力)

MP3 プレーヤー (3.5 mm ジャック) などからのオーディオ入力。

④ USB

- USB ストレージデバイスを接続してオーディオメディアを再生します。
- この製品のソフトウェアをアップグレードするためにも使用します。

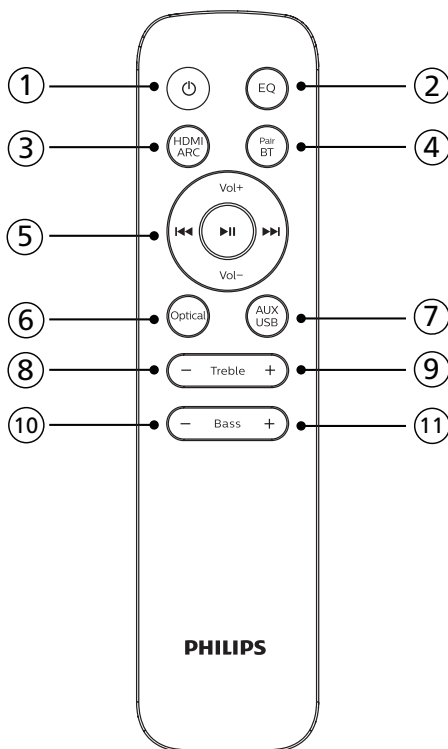
⑤ Optical in (光入力)

テレビまたはデジタル機器の光オーディオ出力に接続します。

⑥ 壁面ブラケットスロット

リモコン

このセクションでは、リモコンの概要について説明します。



① ㊦ (スタンバイ - オン)

サウンドバーの電源をオンにするか、スタンバイ状態にします。

② EQ（モード）

4 つの EQ モードから選択します：
映画／音楽／音声／スタジアム。

③ HDMI ARC

ソースを HDMI ARC 接続に切り替えます。

④ Pair / BT（ペアリング／BT）

- 短く押すと Bluetooth ソースに切り替わります。最後にペアリングした機器が利用可能な場合、サウンドバーはその機器に再接続されます。
- 3 秒間長押しすると、すべての Bluetooth 機器から切断され、ペアリングモードになります。

⑤ ◀▶ / ▶▶ (前へ／次へ)

USB / BT モードで前または次のトラックにスキップします。

▶|| (再生／一時停止)

USB / BT モードで再生を開始、一時停止、または再開します。

Vol + / Vol - (システム音量)

システム音量レベルを増減します。

⑥ Optical（光学）

オーディオソースを光接続に切り替えます。

⑦ AUX/USB

オーディオソースを AUX/USB 接続に切り替えます

⑧ Treble - (トレブル -)

サウンドバーの高音の音量を下げます。

⑨ Treble + (トレブル +)

サウンドバーの高音の音量を上げます。

⑩ Bass - (低音 -)

サウンドバーの低音の音量を下げます。

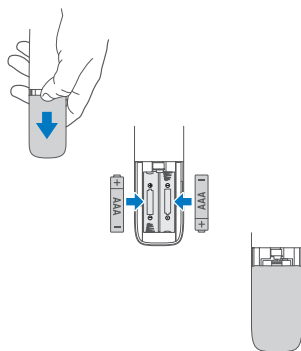
⑪ Bass + (低音 +)

サウンドバーの低音の音量を上げます。

リモコンの準備

- 付属のリモコンを使用すると、離れた場所からでもユニットを操作できます。
- 有効範囲の 6 m (19.7 フィート) 以内でリモコンを操作していても、ユニットとリモコンの間に障害物がある場合には、リモコンの操作ができなくなることがあります。
- 赤外線が発生する他の製品の近くでリモコンを操作している場合、または赤外線を使用した他のリモコン装置がユニットの近くで使用されている場合には、リモコンが正しく動作しないことがあります。逆に、他の製品側が正しく動作しないことがあります。

リモコンの電池交換



電池収納部のカバーをスライドさせて取り外し、正しい極性で単 4 形電池 (1.5V) 2 本を挿入してから、電池収納部のカバーを元の位置までスライドさせます。

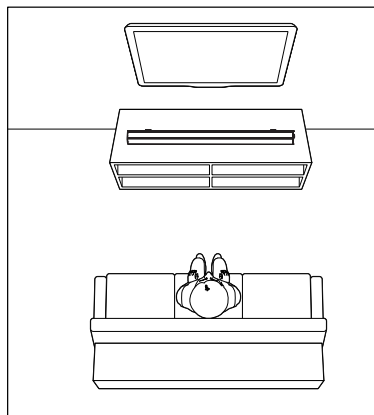
- 電池の「+」側と「-」側が、電池収納部に表示されている「+」側と「-」側に一致していることを確認します。

電池に関する注意事項

- 電池は必ずプラス極「⊕」とマイナス極「⊖」が正しい向きとなるように挿入してください。
- 同じタイプの電池を使用してください。タイプの異なる電池を一緒に使用しないでください。
- 充電式電池パックと非充電式電池パックのどちらも使用できます。ラベルの注意事項を参照してください。
- 電池カバーと電池を取り外すときには、爪を痛めないように注意してください。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンに何らかの衝撃が加わらないようにしてください。
- リモコンの上に水や液体をこぼさないでください。
- リモコンを濡れている物の上に置かないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所や、高温になる熱源の近くに置かないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、腐食や電池の液漏れが発生し、怪我、物的損傷、火災などの原因となる可能性があるため、本体から電池を取り出しておいてください。
- 指定されたものの以外の電池は使用しないでください。
- 新しい電池を古い電池と一緒に使用しないでください。
- 充電式であることが確認できない電池は、絶対に充電しないでください。

取り付け

下の図のようにサウンドバーを配置します。

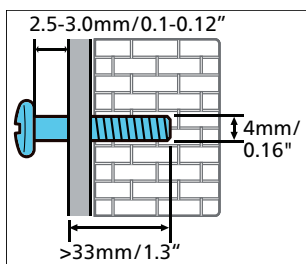


壁面取り付け

注

- 不適切な壁面取り付けは、事故、負傷、または損傷の原因となる可能性があります。お尋ねになりたい点がある場合は、お住まいの国のお客様情報センターにお問い合わせください。
- 壁面に取り付ける前に、壁がサウンドバーの重量を支えられることを確認してください。
- 壁面に取り付ける前に、サウンドバーの底部にあるゴム製の脚を取り外す必要はありません。ゴム製の脚は取り外すと元に戻すことができません。
- 壁面取り付けのタイプに応じて、適切な長ささと直径のネジを使用してください。
- サウンドバーの背面にある USB ポートが USB デバイスに接続されているかどうかを確認してください。接続された USB デバイスが壁面取り付けに影響を与える場合は、適切なサイズの別の USB デバイスを使用する必要があります。

ネジの長さ／直径

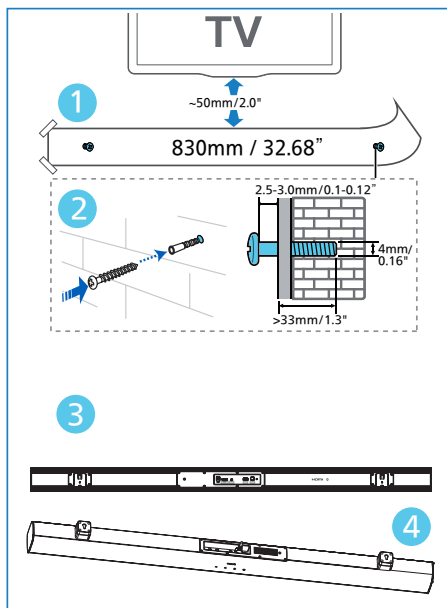


推奨の壁面取り付け高さ

サウンドバーを壁面に取り付ける前に、まずテレビを取り付けることをお勧めします。テレビが事前に設置された状態で、テレビの底面から 50 mm (2.0 インチ) 離れた壁面にサウンドバーを取り付けます。

警告！

- けがを防止するため、本装置は設置説明書に従って床／壁面にしっかりと固定する必要があります。
- 推奨の壁面取り付け高さ：1.5 m 以下。



- 1 平行する 2 つの穴（壁のタイプに応じて直径 3～8 mm）を壁面に開けます。
 ↳ 穴間の距離は次のとおりです。
 830 mm / 32.68 インチ
 ↳ 壁の正しい位置にドリルで穴を開けるために、付属の壁面取り付けテンプレートを使用できます。
- 2 ダボとネジを穴に固定します。
 ↳ 必ず壁とネジの頭との隙間を 2.5～3.0 mm 残してください。
- 3 サウンドバーを取り付けネジに掛けます。

3 接続

このセクションでは、サウンドバーをテレビやその他の機器に接続してセットアップする方法について説明します。

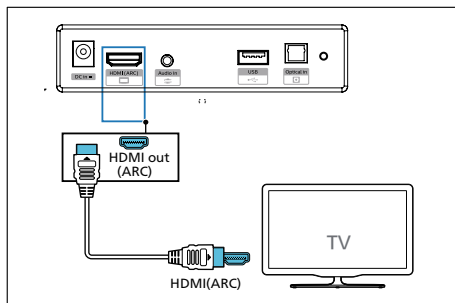
サウンドバーとアクセサリの基本的な接続については、クイックスタートガイドを参照してください。

注

- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または下部にある型式プレートを参照してください。
- 接続を確立または変更する前に、すべての機器が電源コンセントから外されていることを確認してください。

HDMI ARC への接続

サウンドバーは、オーディオリターンチャンネル (ARC) 装備の HDMI に対応しています。テレビが HDMI ARC 対応であれば、HDMI ケーブルだけでサウンドバーからテレビ音声を再生できます。



- 1 テレビで HDMI-CEC 操作をオンにします。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
 - テレビの HDMI ARC コネクターのラベルが異なる場合があります。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

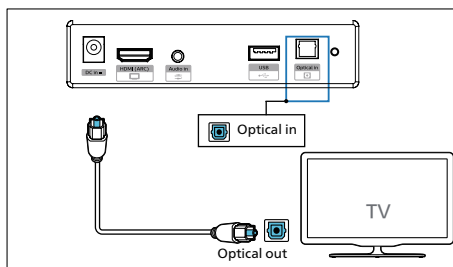
- 2 高速 HDMI ケーブルを使用して、サウンドバーの HDMI eARC コネク터를テレビの HDMI ARC コネクターに接続します。

注

- テレビが HDMI-CEC および ARC 機能に対応している必要があります。HDMI-CEC および ARC をオンに設定する必要があります。
- HDMI-CEC と ARC の設定方法は、テレビによって異なる場合があります。ARC 機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- HDMI ケーブルが ARC 機能に対応していることを確認してください。

光学系への接続

- 1 光ケーブルを使用して、サウンドバーの [Optical in (光入力)] コネク터를テレビまたはその他の機器の [Optical out (光出力)] コネクターに接続します。

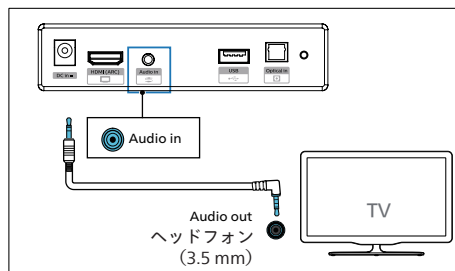


- [Spdif in (Spdif 入力)] または [Spdif out (Spdif 出力)] と表示されているデジタル光コネクターもあります。

AUX への接続

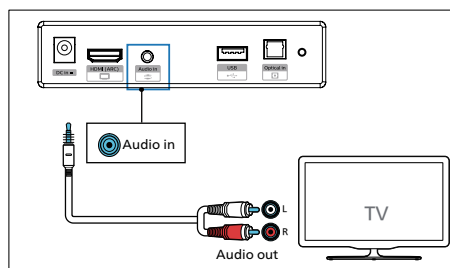
3.5mm オーディオケーブルを使用する

- 3.5 mm のオーディオケーブルを使用して、テレビのヘッドフォンソケットをユニットの「AUX」ソケットに接続します。



3.5 mm RCA オーディオケーブルを使用する

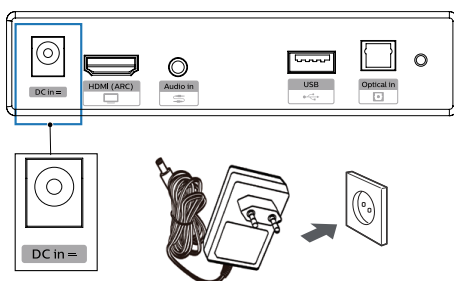
- 3.5 mm RCA オーディオケーブルを使用して、テレビのオーディオ出力ソケットをユニットの「AUX」ソケットに接続します。



電源への接続

- AC 電源コードを接続する前に、他のすべての接続が完了していることを確認してください。
- 製品が損傷する危険があります！電源電圧が、ユニットの背面または底面に印刷されている電圧と一致していることを確認します。

- 主電源ケーブルをユニットの DC ソケットに接続し、次に主電源ソケットに接続します。



注

- アダプタとプラグのタイプは地域によって異なります。

4 サウンドバーの使用

このセクションでは、サウンドバーを使用して、接続された機器からオーディオを再生する方法について説明します。

作業を開始する前に

- クイックスタートガイドおよび取扱説明書に記載されている必要な接続を行います。
- サウンドバーを他の機器に合わせて正しいソースに切り替えます。

電源のオン／オフ

- まずユニットを主電源ソケットに接続すると、ユニットはスタンバイモードになります。[スタンバイ] インジケータが点灯します。
- リモコンまたはサウンドバーの  ボタンを押して、サウンドバーの [ON (オン)] または [OFF (オフ)] を切り替えます。
- サウンドバーを完全にオフにする場合は、主電源ソケットから主電源プラグを外します。

自動スタンバイ

- テレビまたは外部サウンドバーの接続が失われた場合、または電源がオフになった場合、約 15 分後にサウンドバーは自動的にスタンバイモードになります。
- ユニットを完全にオフにするには、主電源ソケットから主電源プラグを取り外します。
- 使用していないときは、省エネのためユニットの電源を完全に切ってください。

ソースの選択

- 1 ユニット上の  (ソース) ボタンを繰り返し押すか、リモコン上の [AUX/USB]、[Optical]、[HDMI ARC]、または [Pair/BT] ボタンを押して、希望のモードを選択します。
 - ↳ サウンドバーのインジケータライトに、現在使用中のモードが表示されます。

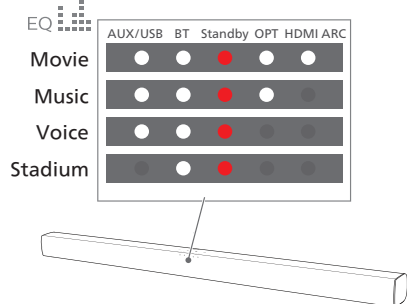
ステータス	LED の状態
AUX	[AUX/USB] 点灯 (ホワイト)
USB	[AUX/USB] 点滅 (ホワイト)
Standby	[スタンバイ] 点灯 (レッド)
Pair/BT (Bluetooth)	
• 接続済み	[BT] 点灯 (ホワイト)
• 切断済み	[BT] 点滅 (ホワイト)
OPTICAL	
• サポート対象	[OPT] 点灯 (ホワイト)
• サポート対象外	[OPT] 点滅 (ホワイト)
HDMI ARC	
• サポート対象	[HDMI ARC] 点灯 (ホワイト)
• サポート対象外	[HDMI ARC] 点滅 (ホワイト)

イコライザー (EQ) 効果の選択

ビデオや音楽に合わせて、あらかじめ定義されたサウンドモードを選択します。

- 1 リモコンの [EQ] ボタンを押して、希望のプリセットされたイコライザー効果を選択します。デフォルトモードは [Movie (ムービー)] です。
 - **Movie (ムービー)** (LED が 5 つ点灯)：サラウンドリスニング体験をもたらします。映画鑑賞に最適です。
 - **Music (音楽)** (LED が 4 つ点灯)：2 チャンネルまたはマルチチャンネルのステレオサウンドをもたらします。音楽鑑賞に最適です。

- **Voice (音声)** (LED が 3 つ点灯)：人の声をより明瞭にし聞きやすくするためのサウンド効果をもたらします。
- **Stadium (スタジアム)** (LED が 2 つ点灯)：スタジアムでスポーツ観戦をしているような雰囲気をもたらします。

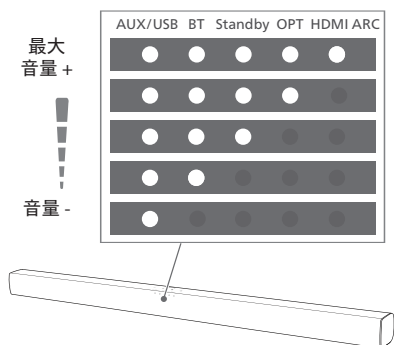


音量の調整

サウンドバーの音量を調整すると、ステータスインジケータの明るさが増減します。対応するライトの表示／点滅に従って、サウンドバーの現在の音量レベルを判断します。

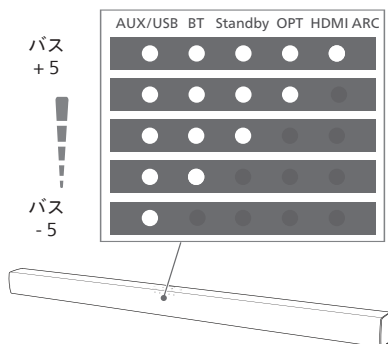
音量の調整

- 1 サウンドバーの +/- を押すか、リモコンの [Vol +/-] を押して音量レベルを増減します。



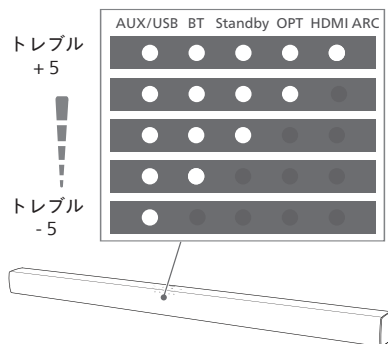
低音の調整

- 1 リモコンの [Bass +/-] を押して、低音の音量レベルを増減します。



高音の調整

- 1 リモコンの [Treble +/-] を押して、高音の音量レベルを増減します。



注

- デフォルトでは、低音／高音は 0 に設定されています。

工場出荷時の状態にリセット

機器をデフォルト設定にリセットします。

- 1 サウンドバーの電源をオンにします。
- 2 **+** ボタンと **-** ボタンを同時に 8 秒間長押しします。
 - ↳ すべての LED が 5 秒間点灯し、スタンバイ LED が赤色に点灯します。
- 3 サウンドバーが再起動します。

Bluetooth 機器

Bluetooth を利用して、サウンドバーを Bluetooth 機器 (iPad、iPhone、iPod touch、Android フォン、ラップトップなど) に接続し、機器に保存されているオーディオファイルをサウンドバーから聴くことができます。

要件

- Bluetooth プロファイル A2DP、AVRCP をサポートし、Bluetooth バージョン 5.0 + EDR を搭載した Bluetooth 機器。
- サウンドバーと Bluetooth 機器の最大動作範囲は約 10 m (30 フィート) です。

- 1 サウンドバーの **🔊** (ソース) ボタンを押すか、リモコンの **[Pair/BT]** を押して、サウンドバーを Bluetooth モードに切り替えます。

↳ BT インジケーターが点滅します。

- 2 Bluetooth 機器で Bluetooth をオンにし、**Philips TAB4208** を検索して選択し、接続を開始します (Bluetooth を有効にする方法については、Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください)。

↳ 接続中は、BT インジケーターが点滅します。

- 3 サウンドバーから音声ガイドが聞こえるまで待ちます。
 - ↳ 正常に接続されると、BT インジケーターは点灯します。
- 4 Bluetooth 機器でオーディオファイルまたは音楽を選択して再生します。
 - 再生中に通話が着信すると、音楽再生が一時停止します。通話が終了すると再生が再開します。
 - Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している場合は、リモコンで **⏮** / **⏭** を押してトラックにスキップしたり、**⏮** を押して再生を一時停止 / 再開したりできます。
- 5 Bluetooth 接続を切断して、新しい Bluetooth 機器をペアリングします。
 - リモコンの **[Pair/BT]** ボタンを長押しして、Bluetooth 接続を切断し、ペアリングモードにします。

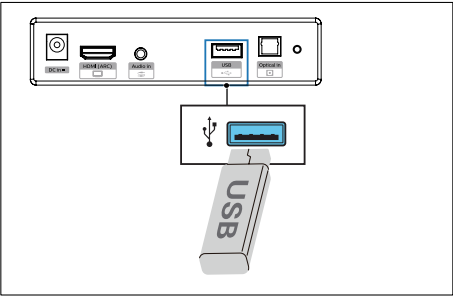
注

- 障害物のないオープンな場所では、サウンドバーと Bluetooth 機器の最大動作範囲は約 10 m (30 フィート) です。
- すべての Bluetooth 機器との互換性が保証されているわけではありません。
- 機器とサウンドバーの間に障害物があると、音楽のストリーミングが中断される場合があります。たとえば、壁、機器を覆う金属製のケース、または同じ周波数で動作する近くにある他の機器などです。

USB 操作

MP3 プレーヤーや USB フラッシュメモリーなどの USB ストレージデバイスでオーディオを楽しむことができます。

1 USB デバイスを挿入します。



2 サウンドバーまたはリモコンの **⏮** (ソース) ボタンを繰り返し押し、リモコンの [USB] ボタンを押して、USB モードを選択します。

→ [AUX/USB] LED インジケーターが白色に点滅します。

3 再生時には次の操作ができます。

ボタン	操作
▶▶	再生の開始、一時停止、または再開
⏮	前のトラックにスキップ
▶▶	次のトラックにスキップ

注

- 本製品は、特定のタイプの USB ストレージデバイスと互換性がない場合があります。
- USB 延長ケーブル、USB ハブ、または USB 多機能カードリーダーを使用すると、USB ストレージデバイスが認識されない場合があります。
- ファイルの読み取り中に USB ストレージデバイスを取り外さないでください。
- システムは、最大 128 GB のメモリーを持つ USB デバイスをサポートできます。
- このシステムは MP3 / WAV / FLAC を再生できます。
- USB ポートのサポート：5V ≒ 500mA。

AUX / 光学 / HDMI ARC の操作

サウンドバーがテレビまたはオーディオ機器に接続されていることを確認します。

1 サウンドバーの **⏮** (ソース) ボタンを繰り返し押すか、リモコンの [AUX/USB]、[Optical]、[HDMI ARC] ボタンを押して、希望のモードを選択します。

→ サウンドバーのインジケータライトに、現在使用中のモードが表示されます。

ステータス LED の状態

AUX	[AUX/USB] 点灯 (ホワイト)
OPTICAL	[OPT] 点灯 (ホワイト) または点滅
HDMI ARC	[HDMI ARC] 点灯 (ホワイト) または点滅

2 オーディオ機器を直接操作して再生機能を有効にします。

3 + / - (音量) ボタンを押して、音量を希望のレベルに調整します。

注

- 光学 / HDMI ARC モードでは、ユニットからの音声出力がなく、ステータスインジケーターが点滅しているときには、ソース機器 (テレビ、DVD、Blu-ray プレーヤーなど) で PCM 信号出力を有効にすることが必要になる場合があります。

5 製品仕様

注

- 仕様および設計は予告なく変更されることがあります。

Bluetooth

Bluetooth プロファイル	A2DP、AVRCP
Bluetooth バージョン	V 5.3
Bluetooth 周波数帯域	2402 ～ 2480MHz
送信機電力	≤ 4 dBm

アンプ部

出力	最大 60 W RMS 30W @THD ≤10%
----	------------------------------

サウンドバー

アダプタ	入力：	1 0 0 ～ 2 4 0 V、 50/60Hz、1.0A（最大）
	出力：	24V ≡ 1.5A ⚡
消費電力		30 W
スタンバイ時の消費電力		< 0.5 W
USB		5V ≡ 500mA
周波数応答		50Hz ～ 18KHz
インピーダンス		8Ω
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)		1100 x 67 x 88 mm
重量		2.3 kg
動作温度		0℃ ～ 45℃

リモコン

距離／角度	6m/30°
電池タイプ	単 4 形（1.5V x 2）

対応オーディオ形式

HDMI ARC	PCM 2ch
光学	PCM 2ch
Bluetooth	SBC
USB	MP3 ／ WAV ／ FLAC

6 トラブルシューティング

警告

- 感電の危険があります。本製品の覆い部分は絶対に取り外さないでください。

保証を有効にしておくために、製品を決して自力で修理しようとししないでください。

本製品の使用で問題が起きている場合には、修理を依頼する前に次の点を確認してください。それでも問題が解決しない場合は、以下でサポートを依頼してください。
www.philips.com/support

メインユニット

メインユニットのボタンが機能しない。

- 電源から数分間電源ケーブルを取り外し、それからもう一度接続します。

電源が入らない

- AC コードが正しく接続されていることを確認します。
- AC コンセントに電力が来ていることを確認します。
- リモコンまたはサウンドバーの  ボタンを押して、サウンドバーをオンにします。

サウンド

サウンドバースピーカーから音が出ない。

- サウンドバーのオーディオケーブルをテレビやその他の機器に接続します。ただし、次の場合は、別のオーディオ接続は必要ありません。
 - サウンドバーとテレビが HDMI ARC 接続によって接続されている。
 - 機器がサウンドバーの HDMI 入力コネクターに接続されている。

- リモコンで、正しいオーディオ入力を選択します。
- サウンドバーがミュートになっていないことを確認します。
- この製品を工場出荷時の設定にリセットします（「工場出荷時の状態にリセット」を参照）。

音やエコーが歪んでいる。

- 本製品でテレビから音声を再生している場合は、テレビがミュートになっていることを確認してください。

Bluetooth

機器をサウンドバーに接続できない。

- 機器がサウンドバーに必要な互換性のあるプロファイルに対応していません。
- 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。機能を有効にする方法については、機器の取扱説明書を参照してください。
- 機器が正しく接続されていません。機器を正しく接続してください。
- サウンドバーはすでに別の Bluetooth 機器に接続されています。接続されている機器の接続を外してから、もう一度試してください。

接続された Bluetooth 機器からのオーディオ再生の品質が良くない。

- Bluetooth の受信状態が良くありません。機器をサウンドバーの近くに移動させるか、機器とサウンドバーの間に障害物があればそれを取り除きます。

Bluetooth 機器でこのユニットの Bluetooth 名が見つからない。

- Bluetooth 機器で Bluetooth 機能が有効になっていることを確認します。
- ユニットと Bluetooth 機器を再度ペアリングします。

リモコンが機能しない

- 再生コントロールボタンを押す前に、まず正しいソースを選択してください。
- リモコンとユニットの距離をさらに近づけます。
- 図に示すように、電池を正しい極性 (+ / -) にして挿入します。
- 電池を交換します。
- リモコンをユニット前面のセンサーにまっすぐ向けて操作します。

サブウーハーの電源が切れる

- ユニットの外部入力信号レベルが低すぎる場合、ユニットの電源が 15 分後に自動的に切れます。外部機器の音量レベルを上げてください。

7 商標



Adopted Trademarks HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI トレードドレス、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited によるこれらの商標の使用はライセンスを受けています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者のものです。



仕様は予告なく変更されることがあります。

最新のアップデートとドキュメントについては、以下を参照してください。
www.philips.com/support

Philips および Philips Shield のエンブレムは Koninklijke Philips N.V. の登録商標であり、ライセンスを受けて使用されています。

本製品は MMD Hong Kong Holding Limited またはその関連会社の責任において製造され、販売されています。MMD Hong Kong Holding Limited は、本製品に関する保証者です。

TAB4208_UM_V1.0

